



市民社会をつくる

ボランティア フォーラム

10th Anniversary
TOKYO
2014

気づく・築く

わたしたちのちから

市民力



2014年2月7日金-9日日

場所 飯田橋セントラルプラザ ほか

東京ボランティア・市民活動センター

TEL : 03-3235-1171

FAX : 03-3235-0050

<http://www.tvac.or.jp>

主催 東京ボランティア・市民活動センター

企画運営 市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO2014 実行委員会

後援 東京都

ボランティアフォーラムTOKYO 2014 趣旨文

ボランティア活動や市民活動に関心のある方々、また、実際に取り組んでいる方々を対象に、「市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO2014」を開催いたします。

今年で10回目を迎える「ボランティアフォーラム」は、現代社会に垣間見られる諸問題に焦点を当てます。急速な社会変化とともに、社会制度や仕組み、地域性、教育問題、価値観など、さまざまな問題を、多くの市民、参加者が共有し、一緒に考えるためのイベントです。

社会課題がより多様化・複雑化している現在、多くの人が、将来に対する不安を抱えながら暮らしているのではないのでしょうか。だからこそ、個別の課題やニーズに柔軟に対応し、ともに乗り越えていくボランティア活動や市民活動への期待は高まっています。

今回は、ボランティアフォーラムを開催してきたこの10年を振り返り、そして、今それぞれがいるステージから次のステージに一歩を踏み出せるよう「気づく・築く市民力（わたしたちのちから）」をテーマに掲げました。

まず、自分や自分の周りに起きていることを知ることから、参加、参画、創造につながるよう、「生活・くらし」「地域・居場所」「若者の市民力」「ボランタリズム」の4つのカテゴリーを設け、それぞれ複数の分科会で構成しました。

参加者のみなさんの声や考えを大切に、誰もが参加できる“市民活動”“市民社会”を考える機会にしていきたいと考えています。みなさんの参加をお待ちしています。

スケジュール&会場

日	時間	飯田橋セントラルプラザ						区境ホール	TVACフロア		
		A (10階)	B (10階)	A (12階)	B (12階)	C (12階)	D (12階)			4階会議室	
2月7日	夜間 19:00 ~ 21:00	10 災害時「要援護者」 って、誰のこと? 19:00 - 20:00	20 もやもや Café 19:00 - 21:00								
	午前1 9:00 ~ 10:15	31 オープニング全体会 9:00 - 10:15									
2月8日	午前2 10:30 ~ 12:30	21 社会課題を体感する 10:30 - 12:30	11 私にとっての “地域”って? 10:30 - 12:30	12 居場所をつく た、その後で 10:30 - 12:30	13 被災地からわ たしのまちまで 10:30 - 12:30				35 ふれあい 満点市場 10:30 ~ 17:00	36 Open Café ~きぎチョコ カフェ~ 8日 10:30 - 20:00 9日 10:00 - 16:00	
	午後 13:30 ~ 16:30	22 震災学生ボランティア交流会 2014 13:30 ~ 20:00	24 その時歴史を 動かした! Part2 13:30 - 16:30	25 ボランティア と社会参加 13:30 - 16:00	01 「貧困」って 何だ! 13:30 - 16:30	14 からだとの 対話 13:30 - 16:30	15 福祉作業所がつく るものをもっと身近に! 13:30 - 15:30				
	夜間 17:00 ~ 21:00			16 自分に出来る事 ってなんだろう? 17:00 - 19:30	30 中間支援組織スタッ フのお悩み相談室 17:00 - 19:30	02 目からウロコのお もしろ「憲法」 17:00 - 21:00	26 メディアから 見た市民社会 17:00 - 20:00	17 シェアしてつな がる暮らし方 17:00 - 20:00	34 10年間の 足跡 7日/8日/9日		
	午前 9:30 ~ 12:00	27 オリンピックと ボランティア 10:00 - 12:00	28 公共サービスの 担い手が、 社会を変える ために 10:00 - 12:00	23 高校生の 発信力 10:00 - 12:00	18 これが地域の リアルだっ!! 10:00 - 12:00	06 ドキュメンタリー映画「ちづる」上映会 9:30 - 11:00					
2月9日	午後1 13:00 ~ 16:00	29 55年前のボラ ンティアからの メッセージ 13:00 - 16:00	19 次世代の 多文化共生 13:30 - 16:00	04 暮らしに活かす 「生活保護」 13:00 - 15:00	05 アディクションの ミーティングで知 る「支えあい」 13:00 - 15:00	07 障害のあるひと の“きょうだい”の 想いを聞きたい 13:00 - 15:00	08 かんもく 13:00 - 15:00				
	午後2 16:30 ~ 18:00	09 カテゴリー「生活・くらし」エピソード それぞれの立場から見てきた社会 15:00 - 16:00									
	夜間 18:15 ~ 20:00	33 交流会 18:15 - 20:00		32 クロージング全体会 16:30 - 18:00							

「生活・暮らし」の豊かさとはなんでしょう。

昨年のボランティアフォーラム2013で行われた「生活・暮らし」カテゴリーでは、多様性を受け入れる社会について話し合いました。しかし、議論をすすめる中で、人間は誰一人同じ状況の人はおらず、すべての人々が多様であり、多様性を受け入れる社会ではなく、多様な社会に共に生きるということみなさんと共有しました。

今回の「生活・暮らし」カテゴリーでは、その多様な生き方の一部をテーマとして取り上げ、みなさん自身も含めて、それぞれの人の置かれている状況について語り合います。

多様な社会とは何か、その「生活・暮らし」についてあらためて見つめなおし、市民（わたしたち）が感じ・考え・行動できることを一緒に考えていきたいと思っています。



きく

講師やパネリストらの話を聴く分科会です



はなす

講師やパネリスト、参加者同士で話し合う分科会です



うごく

立ち上がったたり、しゃがんだりして体を動かす分科会です

01 「貧困」って、何だ!

「貧困」といっても、それを聞く人によってイメージされるものはさまざまに異なるようです。この分科会では、課題としての貧困問題だけに切り込むのではなく、そこにさまざまな視点や思いからアプローチする市民活動者・団体、とくに小地域としての「生活圏」で取り組む方々に語っていただき、「私たちの身近な課題」「私たちにもちょっとした関わりが出来る課題」について話し合います。



きく はなす

日時：2月8日（土）13：30～16：30

定員：30名

出演：齋藤一郎さん（民生委員）

滝口仁さん（HINO飛び教室）

金子磨矢子さん（Alternative Space Necco）

早川秀樹さん（多文化まちづくり工房）

吉良裕美子さん（しぶやボランティアセンター）

おすすめ：貧困について関心のある方
どなたでも

02 目からウロコのおもしろ「憲法」

2007年のフォーラムで好評だった「声を出して、読みたい憲法」の第2弾!

憲法とは、国家権力の暴走を規制するためのものです。そこを誤解している人も多いようです。では、憲法は、私たち市民の暮らしにどんな関わりを持っているのでしょうか。「憲法ってオモシロイ!」あなたの目からもきっとウロコが落ちるはず。日本国憲法の基礎を学び直しながら、後半は参加者による憲法前文を考えてみましょう。



きく はなす

日時：2月8日（土）17：00～21：00

定員：40名程度

出演：山元一さん（慶応義塾大学法科大学院教授）

おすすめ：憲法や市民の暮らしに興味や関心のある方

よくわからないのでもっと憲法を知ってみたいと思う方

03 カテゴリー「生活・暮らし」プロローグ

それぞれの立場から見えてくる社会



きく はなす

「生活・暮らし」カテゴリーで行われる分科会では、さまざまな状況にある当事者からの語りを中心にを行います。ここでいう当事者とは、だれもが当事者であるという考えを持っています。各分科会の参加への入口になります。プロローグでは、各分科会で語る当事者の方と分科会担当者が一緒に企画の想いを話します。

日時：2月9日（日）11：00～12：00

定員：30名

出演：生活・暮らし担当者

おすすめ：「生活・暮らし」カテゴリーに参加予定の方
関心のある方どなたでも

04 暮らしに活かす 「生活保護」



制度としての生活保護のありようについて、さまざまな議論があります。でも、実際にその生活保護制度を利用している方々の暮らしがどのようなものか、みなさんご存じですか。

この分科会では特に、実際に生活保護制度を「活用して」学生時代を過ごした若者たちから、その暮らしについて語っていただきます。

日時：2月9日（日）13：00～15：00
定員：30名
出演：生活保護制度を利用した経験のある若い世代の方々
おすすめ：「生活保護」を活用した暮らしについて、その体験を実際に聞いてみたい方

06 ドキュメンタリー映画 『ちづる』上映会



「妹のことをどう説明したらいいかわからない。だから言葉で伝えるかわりにカメラを向けることにした。」

大学の卒業制作として作られた自閉症の妹と家族の日常生活を描いた映画を上映します。

そこに映し出されているのは、ごくありふれた家族の風景と少し変わった出来事。

障害のある兄弟・姉妹と生きていく不安や葛藤、想いについて心を傾けてみませんか。

※分科会No.7にもご参加ください。映画の感想や「きょうだい」について、話し合いたいよう。

日時：2月9日（日）9：30～11：00
定員：50名
出演：赤崎正和さん（立教大学現代心理学部映像身体学科卒業）
おすすめ：障害がある人のきょうだい、親、障害のある人、そのサポートをする人、地域の方々、興味のある方どなたでも

08 かんもく

～声にならない声をつたえる～



「場面緘黙症」を知っていますか？

学校や職場など特定の社会的場面において話ができなくなってしまう情緒障害です。

日本では認知度が低いと誤解も多く、家庭や教育現場で十分な理解や支援が得られていません。

この分科会では場面緘黙に関する理解を促進し、互いを受け入れ、理解し合える社会のあり方を参加者と一緒に話し合います。

日時：2月9日（日）13：00～15：00
定員：30名
出演：角田圭子（かくたけいこ）さん（臨床心理士、かんもくネット代表）
おすすめ：経験者
教育、福祉分野などで子どもと関わる活動をする方
関心のある方

05 アディクションの ミーティングで知る 「支えあい」



～アディクション（依存症）からの回復～

ミーティングは、課題を抱える当事者同士が語り合う「場の力」で「回復」していく（「治癒」ではない）プログラムです。「回復」とは単に「酒や薬物などを辞める」だけではなく、「新しい生き方」を見つけることまでいいます。ピアサポートによる「支えあい」は地域活動としてさまざまな可能性をもっているかもしれません。分科会では、参加者が一緒に参加・体験してみます。

日時：2月9日（日）13：00～15：00
定員：20名
出演：渡辺肇（武蔵野ダルク）
依存症 経験者
おすすめ：依存症に関心のある方
地域の支え合いについて取り組んでいる方
依存症の方

07 障害のあるひとの “きょうだい”の想いを聞きたい



～一人で抱えないで。みんなで一緒に考えてみよう～

障害のある人の“きょうだい”の想いを伺う機会はあまりありません。“きょうだい”ならではの悩みや想い、また“きょうだい”の視点から見た「障害のある人と、親や地域も含めたその周辺の人たちとの暮らし」を伺いながら、きょうだいあるいは家族という枠を乗り越え、それぞれが自分の道を歩みながらも、お互いが支え合える関わり方を、参加者のみなさんと考えたいと思います。※分科会No.6映画「ちづる」もぜひご覧ください。

日時：2月9日（日）13：00～15：00
定員：20名
出演：障害のある人のきょうだい、支えている人、周囲の人
おすすめ：障害のある人のきょうだい、親、障害のある人、そのサポートをする人、地域の方々、興味のある方どなたでも

09 カテゴリー「生活・くらし」エピローグ それぞれの立場 から見えてきた 社会



「生活・くらし」カテゴリーで行われた各分科会で、当事者の語りから見えてきた社会。私たち当事者がつくる社会（地域）は、多様性にあふれています。その多様な社会がめざすべき豊かさについて、それぞれの分科会を振り返り、共有しながら参加者のみなさんと語り合い一緒に考えましょう。

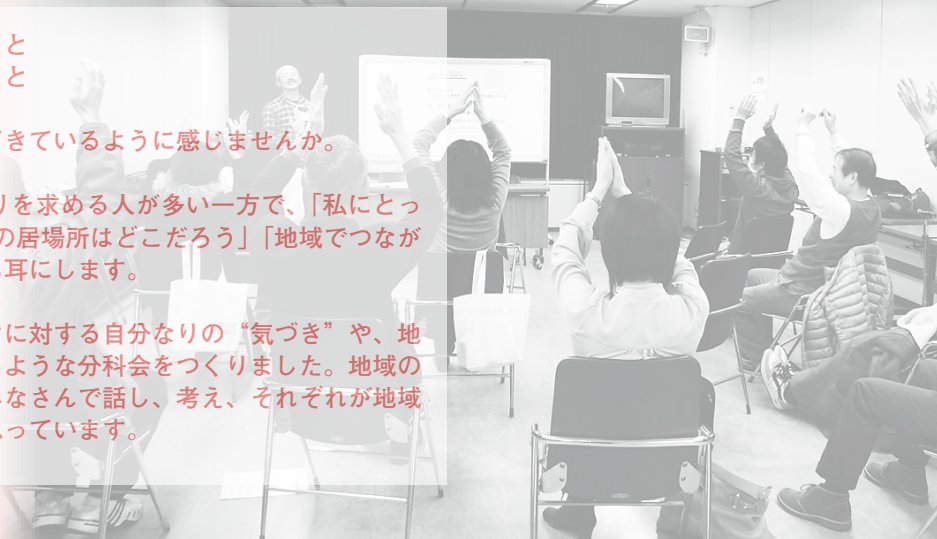
日時：2月9日（日）15：00～16：00
定員：30名
出演：生活・くらし担当者
おすすめ：「生活・くらし」カテゴリーに参加した方
関心のある方どなたでも

—身近な地域が自分の居場所であること
—住んでいる地域につながりがあること

これは現在、当たり前ではなくなってきたように感じませんか。

身近な地域に自分の居場所やつながりを求める人が多い一方で、「私にとっての地域っていったい何だろう」「自分の居場所はどこだろう」「地域でつながるってどういうことだろう」そんな声も耳にします。

このカテゴリーでは、そんな問いかけに対する自分なりの“気づき”や、地域や居場所を“築く”ヒントを得られるような分科会をつくりました。地域のあり方、居場所の意味などを参加者のみなさんと話し、考え、それぞれが地域で発揮できる力を一緒に見つけたいと思っています。



10 災害時「要援護者」って、誰のこと？

～一緒に泊まって考えよう～



きく うごく

「災害時要援護者」という言葉から、どのような方々が思い浮かびますか？

災害時に、特に支援を必要とする方々について、その「支援」にはさまざまな視点からの取り組みが必要です。そのためには、「まち」の住民一人ひとりが「要援護者」と呼ばれる方々との多様な関わりを紡ぐことが必要です。

日頃の暮らしのなかでの「関わりづくり」のきっかけとして、この分科会では「お泊まり体験」を行います。

日時：2月7日（金）19:00～ 8日（土）8:00

定員：15名

協力：新宿区障害者福祉協会

おすすめ：地域の取り組みとしての「要援護者支援」について関心のある方

12 居場所をつくった、その後で



はなす

「居場所をつくったけど、うまくいかない」「永年活動してきたけど活動がマンネリになってきた」「新しい人を呼び込みたい」「他団体の話を参考にしたい」など・・・居場所について今考えていること、悩んでいることを話して、明日への活力をチャージしましょう！

日時：2月8日（土）10:30～12:30

定員：20名

出演：調整中

おすすめ：サロン活動やコミカフェ等居場所を運営している人
かかわりを持っている人（スタッフ・ボランティアなど）

11 今更だけど考えたい…

私にとっての“地域”って？



はなす

～コミュニティマップを作ってみよう～

孤立防止や災害時の備えとして“地域でのつながり”の重要性がよく聞かれるようになりました。一方で、日中のほとんどを自宅から離れた学校や職場で過ごし、実は、住んでいる“地域”でのつながりがないと感じている方も多いのではないのでしょうか。

そもそも自分にとって“地域”ってなんだろう。どこなんだろう。どう関わったらいいの？……

それぞれの「コミュニティマップ」を作り、共有しながら、ちょっと考えてみませんか。

日時：2月8日（土）10:30～12:30

定員：20名

おすすめ：地域と自分とのかかわりについて考えたい人
地域とつながりたいと思っている人 など

13 被災地からわたしのまちまで。まちづくりの“ヒント”を探そう



きく はなす

東日本大震災のボランティアに関わったことがきっかけで、まちづくりの現場で働く2人のゲストから話を伺います。釜石市で農業・食育・自然エネルギーを繋げる活動を始めた山田周生さん。調査会社を辞め、被災地での支援活動に携わった後、出身地である藤沢市の市民活動センターで働く宮本裕子さん。2人の話からヒントをもらい、「わたしのまちの未来」「地域で働く」「被災地のまちづくり」という3つのテーマに分かれて話し合いをします。

日時：2月8日（土）10:30～12:30

定員：20名程度

出演：山田周生さん（一般社団法人United Green 代表）

宮本裕子さん（NPO法人 藤沢市市民活動推進連絡会 職員）

おすすめ：東北支援活動、まちづくり、市民活動や多様な働き方に興味のある人

14 からだとの対話

～「聴く」を磨くワークショップ～

対話（フォーラム）は言葉だけで行われるものではありません。



うごく

この分科会では、参加者同士で実際に身体を使ったワークショップを行うことによって、コミュニケーションのあり方を見つめ直します。ともすれば忘れ去られがちな「からだの声」に耳を傾け、あらゆる活動の基礎になる「自己／他者との対話」を一緒に体感しませんか。

日時：2月8日（土）13：30～16：30

定員：20名

出演：かめおかゆみこさん（演劇教育、ワークショップ企画、執筆など）

おすすめ：対人援助に関わる活動をしている方
関心のある方

16 自分に出来る事って なんだろう？

～小さな一歩のためのヒント～



きく はなす

何かをしたいと思っても、何から始めていいのか、何をしたいのか分からない。

でも、いろんな人と出会って、一緒に話してみると不思議と世界が違って見えたり、小さなつづみやきが、背中を押してくれることもある。そんな魔法のような現実の出来事を学んで、自分に出来ること探してみませんか。

日時：2月8日（土）17：00～19：30

定員：30名

出演：延藤安弘さん（NPO法人まちの縁側育み隊 代表理事）

おすすめ：何かを始めたい人
「ボランティア」「地域」「まちづくり」「楽しい」のキーワードに興味のある人

18 一本音トークー これが地域の リアルだっ!!



きく はなす

町会・自治会が後継者問題で揺れている!?

地域を支える力は、今後どうしていけばいいのでしょうか。

今後の地域を担っていくことになるのは誰なのか。地域力を発揮する人たちの本音は今どうなっているのでしょうか。

より良い地域を創っていくために、今日は本音で話しませんか。

日時：2月9日（日）10：00～12：00

定員：30名

出演：調整中

おすすめ：後継者問題で困っている町会・自治会の役員
地域で何かしたい・活躍したいと思っている人

15 福祉作業所が つくるものを もっと身近に!



きく はなす

～ウェルフェアトレードの可能性を探る～

クッキーやパン、雑貨や小物など障がい者が働く福祉作業所ではさまざまなものがつくられています。

この分科会では、福祉作業所が「つくる」ためのサポートと「売る」ためのサポートを受けながら、良いものをつくって、適正な価格で広く地域の中で販売していく『ウェルフェアトレード』の可能性を探ります。福祉作業所がつくるものを身近に感じてみませんか。※本分科会にご興味・ご関心のある方は35「ふれあい満点市場」をぜひご覧下さい。

日時：2月8日（土）13：30～15：30

定員：30名

出演：藤本光浩さん（マジェルカ代表）

若尾明子さん（クッキープロジェクト）

おすすめ：福祉作業所の職員の方、「買い物で社会貢献」に興味のある方

17 シェアしてつながる 暮らし方



きく はなす

地域の行事やご近所つきあいが失われてきているこの頃。もっと地域とつながりたい、でもどうしたらいいの？という方も多いのではないですか。

シェアハウスや住み開きは、住む形を工夫することで地域とつながろうとする試みでもあります。さまざまなアイデアで「つながる暮らし方」の事例から、地域とのつながりを作り出す暮らしの可能性について、一緒に考えてみませんか。

シェアハウスや住み開きは、住む形を工夫することで地域とつながろうとする試みでもあります。さまざまなアイデアで「つながる暮らし方」の事例から、地域とのつながりを作り出す暮らしの可能性について、一緒に考えてみませんか。

日時：2月8日（土）17：00～20：00

定員：30名程度

出演：さまざまな形の「つながる暮らし方」を実践されている方

おすすめ：「シェアハウス」「住み開き」「つながる暮らし方」のキーワードに興味のある方

19 次世代の多文化共生



きく はなす

異なるルーツを持つ人々が、一緒に暮らしてどうということだろう。

「日朝のかけ橋となるために」、隣接する日朝の高校が、2007年から行っている共同シンポジウムがあります。そこは日朝間の歴史、東アジアの領土問題などを通じて、生徒たちがお互いを知る場になっています。

一方、多国籍な人々が暮らす新宿区では、写真やアートを通じた仲間作りが行われています。

2つの事例をみて、これからの多文化交流について考えてみませんか。

日時：2月9日（日）13：30～16：00

定員：30名

出演：魚山秀介さん（帝京大学准教授）

私立帝京高等学校の生徒たち

東京朝鮮高級学校の生徒たち

新宿アートプロジェクトのみなさん

おすすめ：中学生、高校生、大学生
関心のある方など誰でも

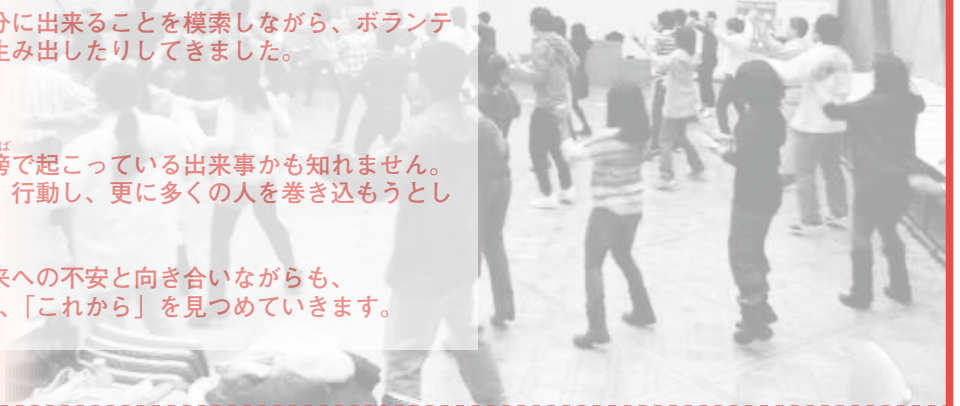
世の中で起こっているさまざまな社会問題。
若者たちは、これらの問題を「ヨソごと」ではなく、「ジブンごと」として捉えているのでしょうか。

東日本大震災以降、多くの若者が自分に出来ることを模索しながら、ボランティア活動に参加したり、新しい活動を生み出したりしてきました。

「もし、自分だったら…」

遠いように感じる問題は、実はすぐ傍で起こっている出来事かも知れません。
そして、これらの問題に既に気づき、行動し、更に多くの人を巻き込もうとして、動いている若者がいます。

このカテゴリーでは、これからの将来への不安と向き合いながらも、社会と向き合う若者たちの、「いま」と、「これから」を見つめていきます。



20 もやもやCafé

～自立や働くことについて語りませんか～

さまざまな角度から“自立”が求められる若者。学校や企業に所属している人も、これから就職を目指す人も、ニートやひきこもりと言われる人も、いや、若者に限らず全ての人が、“自立した人”でなければならない中で、窮屈さを感じながら過ごしているように思います。そんな中、若い世代は特に、将来の不安や、いまのままでもいいのかなど、多くのもやもやを抱えているように思います。

この分科会では、自立というキーワードを中心に、若者同士でもやもやを吐き出し語ることで、この先の生き方にヒントを見つけられるようなものとして考えています。

日時：2月7日（金）19：00～21：00
定員：30名
進行：小倉哲さん（東京YMCA liby）
おすすめ：学生や、20代、30代の若い人



21 It's Time to CHANGE !

～社会課題を体感するワークショップ～

ボランティアフォーラムに関心を持たれたみなさんの中には、社会課題解決のために必要な活動に興味があっても、実際に参加の一步を踏み出せていない人も多いのではないのでしょうか。

この分科会では、見えそうで見えない社会問題を楽しく体感するワークショップを行い、みなさんの「一步」を応援します。

日時：2月8日（土）10:30～12:30
定員：30名程度
出演：調整中
おすすめ：中・高校生～若手社会人まで



22 震災学生ボランティア交流会2014

「東北愛DEAR！」

～気づく・築く 学生力～

東日本大震災からまもなく3年を迎え、震災の記憶の風化がますます懸念され、復興活動を行う団体のこれからのための課題も抱える中、東北への想いを胸に、それぞれにできることを継続しています。

この分科会では、高校生・大学生による復興活動団体が、相互に関係を築きながら、新しい一年に向けた、私たちなりのアイデアを交わし合い、次の一步を踏み出すきっかけとします。

日時：2月8日（土）13:30～16:30 トークセッション
17:00～20:00 ポスターセッション（展示）

定員：80～100名
※ポスターセッションは、申込者以外の方も自由にご参加いただけます。
企画・運営：学生ネットワークSTOCK（震災復興活動を行う学生団体のネットワーク）
おすすめ：震災復興災害ボランティアに関わっている（または関わりたい）高校生、大学生



23 高校生の発信力

高校生が身近な社会問題に取り組み、情報を発信しています。東京都社会福祉協議会の広報誌『福祉広報』のユース記者の活動がその一つです。ユース記者の活動は今年度で3回目となり、各回取材内容を『福祉広報』の特別号として発行してきました。ユース記者の活動をモデルとして、高校生の発信力について、参加者とともに考えていきます。

日時：2月9日（日）10：00～12：00
定員：30名
出演：ユース記者を経験した方々

ユース記者に取材を受けた施設・団体の方々
東社協総務部ユース記者担当 森直美・土屋ゆかり・吉原淳二
おすすめ：高校生・高校の先生
社会福祉協議会・ボランティアセンターの職員の方
関心のある方



阪神淡路大震災のあった1995年が、ボランティア元年と呼ばれてから19年が経ちます。その後の様々な災害、そして、東日本大震災、また、最近の自然災害等での報道もあり、「ボランティア」という言葉は、より多くの人たちにとって身近なものとなりました。大きなスポーツ大会や博覧会なども、ボランティアの参加がないものはないと言っていいほどにまで広がっています。

しかし、ボランティアが安価な労働力として、また、安易な参加の場づくりとして利用されてはいないでしょうか。

このカテゴリでは、これまで先人が築いてきた活動に思いを馳せながら、ボランティアが持つ価値や可能性について考えます。



24 その時歴史を動かした!

Part2

～ボランティア・市民活動を先導してきた団体の歴史とボランティアの未来～



きく

以前に増して、「ボランティア」という言葉を聞く機会は増え、広がりが見られている一方で、本来の「ボランティア」とはどのようなものが見えづらくなってきてはいないでしょうか。

昨年の分科会では、戦後日本のボランティア・市民活動の歴史を振り返り、運動性や共感性、制度化との関係など、歴史を動かすターニングポイントにおいて、いくつかの共通するキーワードが浮かび上がってきました。

そこで、今回の分科会では、日本においてボランティア・市民活動を草の根から運動性をもって展開してきた団体を題材に、主に1980年代に焦点をあて、大切にされてきたボランティアの価値は何か、そのとき歴史をどう動かしたのかを振り返ることにより、未来へとつながる真のボランティアリズムについて考えたいと思います。

日時：2月8日(土) 13:30～16:30

定員：30名

出演：下澤憲さん(静岡文化芸術大学教授、元シャプラニール=市民による海外協力の会事務局長)

宮川齊さん(社会福祉法人むらぶ職員、元三鷹市ボランティア連絡協議会代表世話人)

安藤雄太さん(社会福祉法人サンフレンズ理事長、東京ボランティア・市民活動センターアドバイザー)

おすすめ：テーマに関心のある方

26 メディアから見た市民社会

～映像、市民、未来～



きく

市民社会の近代について、19・20世紀文化の足跡を手がかりに読み解くことから、これからの私たちを照らします。

先の世紀は多くの発明を生みましたが、この分科会では「写真」「映画」などのメディアに焦点を当て、実際の映像作品を参照しながら市民社会の変容について考察を進めます。そこには一体、どのような世界が映し出されているのでしょうか。さあ、来たるべきメディアと市民社会のあり方をともに考えましょう。

日時：2月8日(土) 17:00～20:00

定員：30名

出演：高橋世織(たかはしせおり)さん(日本映画大学 学部長・教授)

おすすめ：市民活動に関心のある方

メディア文化に関心のある方

25 ボランティアと社会参加

～引きこもり経験を持つ若者の事例から考える～



きく



はなす

ボランティアへの活動希望の相談がたくさん届いています。

しかし、ボランティア活動希望者が、コミュニケーションが苦手だったり、悩みを抱えたりしているケースでは、ボランティア活動中にトラブルが起こったりもし、参加が続かないこともあります。一方で、その人にとっては、ボランティア活動が社会への参加の一步だったり、居場所であったりすることもあります。

悩みを抱える人たちが、ボランティア参加することをどのようにとらえ、考えていかなければいけないのか議論します。過去に引きこもり経験を持ち、ボランティア活動に参加をしたことがある方からも話を伺います。

日時：2月8日(土) 13:30～16:00

定員：30名

出演：磯田浩司さん(NPO法人 good! 代表)

過去に引きこもり経験のある若者

阿部紀夫さん(世田谷ボランティア協会)

おすすめ：ボランティアコーディネーターの方

ボランティア活動希望者の方

テーマに関心のある方

27 オリンピックとボランティア



きく



はなす

2020年東京オリンピックの開催が決まりました。

近代オリンピックにはたくさんのボランティアが活躍することで知られており、ボランティアが行う役割は、語学などの通訳ボランティアや大会運営ボランティア、案内など多岐にわたります。

そこで活躍したボランティアが、オリンピックを契機として、各地域で継続的にボランティア活動に参加、参画していくコーディネーションがとても重要だと考えます。

これまでのオリンピックや愛・地球博でのボランティア活動の現場から、オリンピックにおけるボランティアコーディネーションについて考えます。

日時：2月9日(日) 10:00～12:00

定員：30名

出演：後藤麻理子さん(日本ボランティアコーディネーター協会)

ほか調整中

おすすめ：ボランティアコーディネーターの方

28 公共サービスの担い手が、社会を変えるために



きく はなす

公共サービスの「官から民へ」の流れの中、委託や指定管理など、以前は行政が直接行っていたサービスを、NPOや企業も担うようになってきました。しかし、NPOが委託や指定管理を受ける際、その業務に縛られてしまい、本来行うべき活動がおろそかになっていることも多いと聞きます。

昨年実施した同様のテーマの分科会に続き、今回は、現場での具体的な事例を基に、委託を受けながらも、社会を変える組織として動くために必要なことについて考えます。

日時：2月9日（日）10：00～12：00

定員：30名

出演：枝見太郎さん（富士福祉事業団）

藤井智さん（NPO法人文化学習協同ネットワーク）

矢島万理さん（NPO法人NPO birth）

おすすめ：行政から委託や指定管理を受けている団体のメンバー他、関心のある方

29 55年前のボランティアからのメッセージ



きく はなす

～よこいとグループ・大槻久子さんが遺した8つの言葉～

「社会をつなぐ“よこいと”になりましょう」—1959（昭和34）年11月、とある主婦の新聞投書をきっかけに、日本で最も古いボランティアグループの一つ、「よこいとグループ」が誕生しました。

その初代代表であり、投書した大槻久子さんが遺した数々の「言葉」からボランティアズムを問い直します。

日時：2月9日（日）13：00～16：00

定員：30名

出演：小川静枝さん（元よこいとグループ）

吉澤英子さん（大正大学名誉教授、前東京ボランティアセンター所長）

鈴木和子さん（大槻久子氏の長女）

よこいとグループでボランティアをした学生や、障害当事者の方
おすすめ：関心のある方

全体・特別分科会

30 中間支援組織スタッフのお悩み相談室



きく はなす

地域社会の課題解決を目指して、ボランティアや行政をつないだり、NPO法人などの市民活動に参加するための情報を収集発信するなどによって、市民が支える活動を支えるための「中間支援」を行う組織が各地にあります。その地域に根ざす中間支援組織で日々奮闘するスタッフの抱えるもやもやについて共有し、明日への一歩を踏み出すために、みなさんと一緒に考えたいと思います。ぜひ、抱えるもやもやを持ち込んでください。

日時：2月8日（土）17：00～19：30

定員：30名

進行役：支援力アップ塾実践ゼミ参加者のみなさん

実践ゼミ講師 坂本文武さん（立教大学）、唐木理恵子さん（日本ボランティアコーディネーター協会）、菅野道生さん（岩手県立大学）

おすすめ：中間支援組織のスタッフのみなさん、テーマに関心のある方

31 オープニング全体会

～「気づく・築く市民力^{わたしたちのちから}」～



きく はなす

「市民社会をつくるボランタリーフォーラム」は今年で10回目の開催を迎えます。

そこで、オープニング全体会では、ボランタリーフォーラムとボランティア・市民活動の10年を振り返るとともに、各カテゴリーを担当する実行委員から、市民として、気づいてほしいこと、築いてほしいことなどについて問題提起を行います。「気づく・築く市民力（わたしたちのちから）」について考えましょう。

日時：2月8日（土）9：00～10：15

定員：100名

おすすめ：ボランタリーフォーラムにご参加のみなさん

32 クロージング全体会

それぞれのカテゴリーや分科会で議論したことの報告を受け、参加者のみなさんがおもしろかったこと、発見したこと、伝えたいこと、明日からやろうと思ったことなどを共有・発信します。



きく はなす

分科会での熱い思いをもって、直接かけつけてください！「市民力（わたしたちのちから）」を活かすために話し合しましょう。

日時：2月9日（日）16：30～18：00

定員：100名

おすすめ：ボランティアフォーラムに参加したみなさん

34 10年間の足跡

「ボランティアフォーラムTOKYO」は今回で第10回を迎えます。この10年間、たくさんの参加者や団体の方々とともに多様な社会的課題などを考え、話し合ってきました。みなさんとともに歩んできたこの10年を写真や報告書で振り返りながら、ボランティアフォーラムの軌跡をたどります。

日時：2月7日（金）～9日（日）

形式：展示

*このプログラムは、入場無料です。時間内にいつでも来場できます。

36 Open Café

～ききチョコカフェ～

分科会の合間にひと息つきたい、知り合った方々ともう少しお話ししたい、そんな方々のためのフリースペースです。



きく はなす

おいしいお茶を用意してお待ちしています。午後のひと時には、数種のフェアトレードチョコレートをお出しします。ぜひ「マイチョコ・リスト」に加えてください！

当日は、カフェの運営を一緒にやっていただくボランティアを募りながら、くつろぎと交流のスペースをみなさんとともに作り出します。

日時：2月8日（土）10:30～20:00

2月9日（日）10:00～16:00

会場：東京ボランティア・市民活動センターロビー

おすすめ：ボランティアフォーラムにご参加のみなさん、センターへお越しのみなさん

* 出入り自由、お弁当の持ち込み可

33 交流会

「気づく・築く市民力（わたしたちのちから）」をテーマに開催してきた3日間のフォーラムの最後のプログラムです。



きく はなす

数々の出会いから、ともに学び、議論した仲間との交流を深めましょう。また、今後の活動のために、ネットワークを広げるチャンスです。名刺交換はもちろん、案内やパンフレットの持ち込みも大歓迎です。

日時：2月9日（日）18：15～20：00

定員：100名

おすすめ：ボランティアフォーラムに参加したみなさん

*このプログラムは、フォーラム参加費（1,000円）の他に、別途500円（高校生以下または18歳未満300円・飲食代）が必要となります。

35 ふれあい満点市場

～NPO・NGOの作品展示販売～

通販やインターネットで色々なモノが買えるようになった時代。みなさんが買おうとしているモノは作り手の顔や想いが見えませんか。福祉作業所やボランティアグループ、海外協力の現場からサポートを必要とする人たちのために、また、必要とする人たち自ら作成した製品を展示販売します。

※分科会No.15にもぜひご参加ください。

日時：2月8日（土）10：30～17：00

会場：飯田橋セントラルプラザ1階 区境ホール

*このプログラムは、入場無料です。時間内にいつでも来場できます。

37 「想いをかたちに」 出会いの広場

～民間助成金相談～



きく はなす

ボランティア・市民活動団体にとって、活動の充実や発展のために助成金は重要な財源のひとつです。しかし、助成金申請をしてもなかなか獲得することができないという声も聞かれます。一方、助成団体の方からは、さまざまな団体の話を伺うことで多様な活動の様子や地域の課題について把握したいという希望も聞かれます。申請する側、助成をする側が、出会い、ゆっくり話してみませんか。民間助成金の情報も展示しています。

日時：2月8日（土）、9日（日）11：30～13：30

会場：東京ボランティア・市民活動センター ロビー

定員：各日20名

協力：東京都社会福祉協議会民間助成団体部会ほか、民間助成団体役員のみなさん

現代社会が抱える問題に取り組む「市民活動」の“今”を捉える市民社会をつくるボランティアフォーラム。第10回を迎えた今年も、「気づく・築く市民力（わたしたちのちから）」をテーマに4つのカテゴリ「生活・暮らし」「地域・居場所」「若者の市民力」「ボランティア」から37分科会と8個の全体・特別プログラムで考えます。このフォーラムは、東京ボランティア・市民活動センターが主催し、たくさんの団体が集まる実行委員会が企画・運営を担っています。そしてまた、東京のみならず、毎年多くの方々にご参加をいただいているイベントです。

参加費

1人 **1,000円**

※一度、お支払いいただければ、2月7日（金）～9日（日）の複数のプログラムにご参加いただけます。

（当日払い。ただし、プログラムによって追加料金が必要な場合があります。）

※高校生以下または18歳未満の方の参加費は**無料**です。

※次のプログラムは入場無料です。

- [34 10年間の足跡]
（2月7日（金）～9日（日）東京ボランティア・市民活動センターロビー）
- [35 ふれあい満点市場～NPO・NGOの作品展示販売～]
（2月8日（土）10:30～17:00 飯田橋セントラルプラザ1階区境ホール）
- [36 Open Cafe～ききチョコカフェ～]
（2月8日（土）10:30～20:00、2月9日（日）10:00～16:00 東京ボランティア・市民活動センターロビー）
- [37 「想いをかたちに」出会いの広場～民間助成金相談～]
（2月8日（土）、9日（日）11:30～13:30 東京ボランティア・市民活動センターロビー）

※プログラム「交流会」は、参加費1,000円に加えて別途追加料金500円（高校生以下または18歳未満の方は300円、飲食代）が必要です。

申し込み方法

東京ボランティア・市民活動センター ホームページ

<http://www.tvac.or.jp/> から申し込みください。

または、参加申込書（裏表示）に必要事項をご記入の上、**FAXまたは郵送**のいずれかの方法でお申し込みください。

なお、参加希望が多数の場合、ご希望のプログラムにご参加いただけない場合もありますのでご了承ください。

※プログラムによっては内容を変更する可能性があります。（その場合、申し込みをされた方へ事前にご連絡します。）

※個人情報は東京ボランティア・市民活動センターが適切に管理し、NPO・ボランティアに関する研修などのご案内に使用させていただきます。個人情報の取扱いに関する方針はホームページをご覧ください。

東京ボランティア・市民活動センターとは

東京ボランティア・市民活動センターは、ボランティア・市民活動相談やNPOの設立、運営、会計相談、情報提供、研修、ネットワーキングに取り組んでいます。センターでは、会議室や印刷機の利用貸し出しを行っています。また、ちょっとした打ち合わせにお使いいただけるオープン・スペースもあります。どうぞお気軽にご利用ください。

ボランティア募集

- 開催期間中、保育、記録（写真撮影）などにご協力いただけるボランティアを募集します。詳しくは1月31日（金）までに当センターへお問い合わせください。

保育スペース

- 保育スペースを3歳以上に限り設ける予定です。保育の希望がある場合は1月24日（金）までに申込書にてお申し込みください。

会場案内

飯田橋セントラルプラザ

○アクセス

- ・JR総武線 飯田橋駅 西口改札右手
- ・地下鉄（有楽町線・南北線・東西線・大江戸線）飯田橋駅 B2b出口



参加申込書 (FAX・郵送用)

市民社会をつくる ボランティアフォーラム TOKYO 2014

ふりがな お名前		所属	
ご住所 〒 —		E-mail	
TEL ()	FAX ()	保育の希望 (いずれかに○)	1. あり(名) 2. なし

参加ご希望のプログラム名に○印をご記入ください。

開催日	時間	分科会番号	プログラム名	希望	
2月10日	夜間	19:00-21:00	20 もやもやCafé ～自立や働くことについて語りませんか～		
	19:00-翌8:00	10 災害時「要援護者」って、誰のこと? ～一緒に泊まって考えよう～			
2月11日	午前	9:00-10:15	31 オープニング全体会 ～「気づく・築く市民力(わたしたちのちから)」～		
		10:30-12:30	21 It's Time to CHANGE! ～社会課題を体感するワークショップ～		
		10:30-12:30	11 今更だけど考えたい… 私にとっての“地域”って? ～コミュニティマップを作ってみよう～		
		10:30-12:30	12 居場所をつくった、その後で		
		10:30-12:30	13 被災地からわたしのまちまで。まちづくりの“ヒント”を探そう		
	午後	11:30-13:30	37 「想いをかたちに」出会いの広場 ～民間助成金相談～		
		13:30-15:30	15 福祉作業所がつくるものをもっと身近に! ～ウェルフェアトレードの可能性を探る～		
		13:30-20:00	22 震災学生ボランティア交流会2014 「東北愛(アイ)DEAR(ディア)！」～気づく・築く 学生力(わたしたちのちから)～		
		13:30-16:00	25 ボランティアと社会参加 ～引きこもり経験を持つ若者の事例から考える～		
		13:30-16:30	24 その時歴史を動かした! Part2 ～ボランティア・市民活動を先導してきた団体の歴史とボランティアの未来～		
		13:30-16:30	01 「貧困」って、何だ!		
		13:30-16:30	14 からだとの対話 ～「聴く」を磨くワークショップ～		
		夜間	17:00-19:30	16 自分に出来る事ってなんだろう? ～小さな一歩のためのヒント～	
			17:00-19:30	30 中間支援組織スタッフのお悩み相談室	
17:00-20:00	17 シェアしてつながる暮らし方				
17:00-21:00	02 目からウロコのおもしろ「憲法」				
2月12日	午前	17:00-20:00	26 メディアから見た市民社会 ～映像、市民、未来～		
		9:30-11:00	06 ドキュメンタリー映画『ちづる』上映会		
		10:00-12:00	27 オリンピックとボランティア		
		10:00-12:00	28 公共サービスの担い手が、社会を変えるために 高校生の発信力		
		10:00-12:00	18 一本音トークー これが地域のリアルだっ!!		
	午後	11:00-12:00	03 カテゴリー「生活・暮らし」プロローグ それぞれの立場から見えてくる社会		
		11:30-13:30	37 「想いをかたちに」出会いの広場 ～民間助成金相談～		
		13:00-16:00	29 55年前のボランティアからのメッセージ ～よこいとグループ・大槻久子さんが遺した8つの言葉～		
		13:00-15:00	04 暮らしに活かす「生活保護」		
		13:00-15:00	05 アディクションのミーティングで知る「支えあい」～アディクション(依存症)からの回復～		
夜間	13:00-15:00	07 障害のあるひとの“きょうだい”の想いを聞きたい ～一人で抱えないで。みんなで一緒に考えてみよう～			
	13:00-15:00	08 かんもく ～声にならない声をつたえる～			
	13:30-16:00	19 次世代の多文化共生			
	15:00-16:00	09 カテゴリー「生活・暮らし」エピローグ それぞれの立場から見えてきた社会			
	16:30-18:00	32 クローキング全体会			
	夜間	18:15-20:00	33 交流会		

[連絡・問合せ・申込先] 東京ボランティア・市民活動センター

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ10階

TEL 03-3235-1171 FAX 03-3235-0050 URL <http://www.tvac.or.jp>

* ホームページからもお申込できます